

デマンド型交通について

全国各地で導入されている「デマンド型交通」とは、利用者の予約により、タクシーなどの車両に、利用者が乗り合って目的地まで移動する、路線バスとタクシーの中間的な交通システムのことです。

市では山手地域の公共交通空白地を中心としたエリアにおいて、既存の公共交通を補完するために、デマンド型交通の導入を検討しています。

【特徴① 予約について】

- ・事前に予約した方が、利用することが出来ます。
- ・予約には、電話やパソコン、スマートフォンを使います。

【特徴② 乗車について】

- ・予約の具合により、他の方と乗り合いながら、乗降ポイントから目的地へ向かいます。

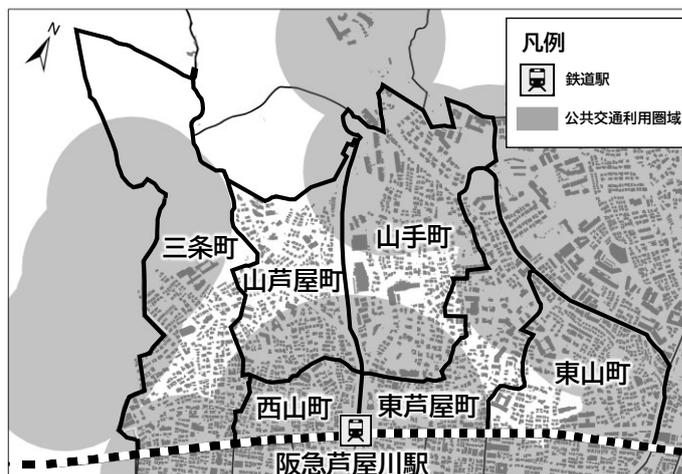


図 山手地域の公共交通空白地（白色部分）

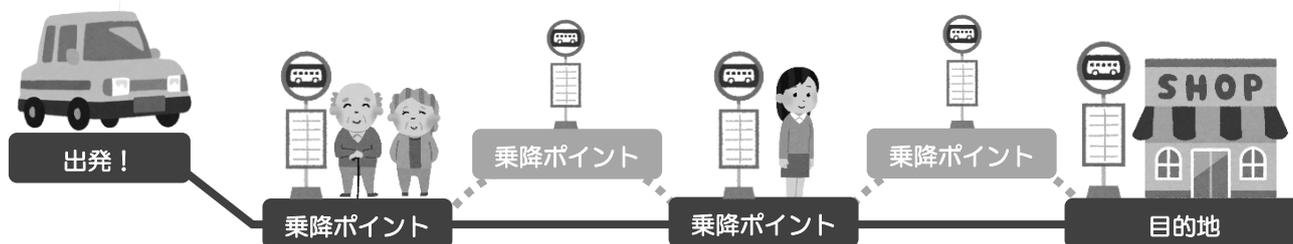
【特徴③ 運賃について】

- ・路線バスやタクシーの、中間程度の運賃を想定しています。
- ・利用者の運賃だけでは運行費用をまかなえないことが多く、全国的に、自治体等が費用負担していることが多いです。

デマンド型交通は、「運行ダイヤ・ルート・乗降ポイント」を予め定めるのか、予約に応じて随時設定するのかなど、様々な運行の方法があります。

今後、利用者や交通事業者（路線バス・タクシー事業者）、道路管理者、警察等との協議や意向により決めていきます。

【デマンド型交通のイメージ】



デマンド型交通の実証運行を実施するには、地域の皆さんや交通事業者との相互理解が重要になります。

このアンケート調査の結果をもとに、今後、市、地域の皆さん、交通事業者で協力しながら、進めていきたいと思ひます。

今後とも、ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひいたします。